

ことうら議会だより

2022年8月1日発行 第73号



トピックス

- ・ 6月定例会 P 2
一般会計補正予算可決
- ・ 一般質問 P 7
10名が質問
- ・ 特集 P 18
期待される町議会

2年連続出場

琴浦サッカースポーツ少年団



6月に開催された第46回鳥取県U-12サッカー大会で準優勝し、全山陰少年サッカー選手権大会(7/2.3 島根県)とOGFA中国U-12サッカー大会(7/16.17.18 岡山県)に出場しました。



令和4年度 一般会計補正

6月定例会

日程：6月7日～17日

◆あらまし

6月定例会は6月7日～17日までの11日間開かれ、請願、陳情、専決処分、一般会計補正予算など26議案が審議された。補正予算のうち1号で4億1,700万円、2号で2億7,300万円と合わせて7億円の大型補正予算となった。1号の主なものでは赤碓ふれあい広場（通称たこ公園）リニューアル工事に1億5,000万円、ふなのえこども園・成美地区公民館建設事業に1億9,000万円、2号の主なものはコロナ対策関連として、プレミアム付商品券の発行、感染予防として各自治会のエアコンなど空気環境整備への助成、生活困窮世帯や子育て世帯を応援する事業、畜産事業に係わる生産費の高騰対策支援などが盛り込まれた。

議案第54号

「令和4年度琴浦町一般会計補正予算（第1号）」

令和4年度一般会計予算案（第1号）については、賛成13名 反対2名で原案可決された。

○主な事業

- ・赤碓ふれあい広場リニューアル事業 150,700千円
- ・ふなのえこども園・成美地区公民館建設事業 189,115千円
- ・セキュリティ強靱化基盤更新 9,240千円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 4,820千円
- ・専用水道等の現況調査及び工事費・地元負担等検討事業 2,816千円
- ・気象災害による農業施設等復旧対策事業 10,121千円



生涯学習センター玄関

反 対

（押本 議員）

反対の討論をさせていただきます。

生涯学習センター検討会として38万6,000円計上されている。その内容は生涯学習センターの利活用促進を図る検討会を開催するものだが、以前にこの件については、町民の意見を取り入れて（事業レビュー）現在の状況となっているにも関わらず、何の目的のために再度検討会を開催するのか、積み重ねてきた町民の意見が無視されるような政策になりはしないか。そして議員に対する基本設計者との説明会が未消化になっている。そういった意味で反対する。



予算、本会議で可決

議案第61号

「琴浦町赤碕財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて」

琴浦町赤碕財産区管理委員の選任につき同意を求めることについては、賛成5名、反対7名で不同意となった。

反対

(小椋正 議員)

以前より現職の議員は委員を兼ねることは控えるべきという申し合わせがなされてきた。しかし今回の選任名簿に候補として選任されておられる。他の財産区では兼任議員の中にも辞退されてきた経過もある中で、過去の提案が生かされていないので反対する。

賛成

5

反対

7

臨時議会

7月15日開会

議案第67号「琴浦町赤碕財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて」

第5回臨時会で、委員を一部変更して町長提案された議案について審議した結果、「同意」となった。

賛成

10

反対

3

議案第65号

「令和4年度琴浦町一般会計補正予算（第2号）」

○主な事業

- ・プレミアム付き「地元商店応援券」発行事業補助金 42,300千円
- ・コロナ禍における自治会活動支援事業補助金 21,780千円
- ・生活困窮世帯等光熱費助成 14,070千円
- ・子育て世帯を応援！ことうら商品券扶助費 24,500千円
- ・新生児支援交付金 11,000千円
- ・酪農配合飼料価格高騰緊急支援事業費補助金 69,448千円
- ・肉用牛・肉豚肥育経営緊急支援事業費補助金 2,672千円
- ・養鶏原油価格高騰緊急支援事業費補助金 3,586千円

賛否が分かれた議案等の起立採決による審議の結果

議案等	審議結果	議員																	
		賛成	反対	金光 敦	小椋 憲浩	谷田 順子	田中 肇	川本 善孝	山本 秀正	押本 昌幸	澤田 豊秋	桑本 賢治	川本正一郎	小椋 正和	手嶋 正巳	前田 智章	桑本 始	井木 裕	大平 高志
定例会 令和4年度琴浦町一般会計予算 (第1号)	可決	13	2	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	議
	不同意	5	7	○	×	○	○	○	議	×	×	退	×	×	○	×	×	除	除
臨時会(7/15) 琴浦町赤碕財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	同意	10	3	無記名投票により採決										除	議				

この表に掲載していない議案は全会一致で可決、請願・陳情は全会一致で採択となった。

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長 退=退席 除=除斥

請願・陳情

番号	件名	提出者	要旨	付託委員会	委員会の意見	本会議採決結果
4年 請願 第1号	地方財政の充実・強化を求める請願	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口一樹 琴浦町職員労働組合 執行委員長 難波浩幸	国に対し、2023年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう求める。	総務産業	採択	採択
4年 陳情 第1号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取県労働組合 総連合 議長 田中 暁	最低賃金の抜本的な引き上げと全国一律制にしていくことを求める。	総務産業	採択	採択
4年 陳情 第4号	国の「水田活用直接支払交付金」の見直しの白紙撤回を求める陳情	全日本農民組合 鳥取県連合会 会長 鎌谷一也	「水田活用直接支払交付金」の見直しを撤回するよう、政府に要請する。	総務産業	採択	採択
4年 陳情 第5号	国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	海事振興連盟 会長 衛藤征士郎	国民が海の大切さを理解し、その恩恵に感謝し、海の安全および環境保全について思いを馳せる機会とするため、「海の日」を当初の7月20日に固定化することを要望する。	総務産業	趣旨採択	趣旨採択
4年 陳情 第6号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	鳥取県高等学校 教職員組合中部 支部 支部長 谷口善一郎 鳥取県教職員組合 中部支部 支部長 川上慎治	国に対し、中学校・高等学校での35人学級の早急な実施、さらなる少人数学級についての検討、教職員定数改善の推進を求める。	教育民生	採択	採択



委員会の報告



総務産業常任委員会

委員長 川本正一郎

6月14日に委員会を開催し、各課からの報告事項の説明を受け審議を行った。
また、委員会終了後は4月にオープンした「道の駅琴の浦」と、一向平キャンプ場の現状視察を実施した。

《 質疑応答 》

- Q** ポート赤碕にある通称「たこ公園」は改装予定だが、利用者及び子ども目線に対して十分な施設になるのか。
- A** すべてを満す事とは言えないかもしれないが、十分配慮した設計となっている。
- Q** 浦安地区公民館の跡地利用は協議しているか。
- A** 5年以内（令和10年まで）には解体し残地は地元へ返す予定。
- Q** まちづくりセンター条例化を考えているか。
- A** 組織化の条例として各地区でしっかりと位置づけを定めたい。
- Q** 空白タクシー助成の改正の考え方は。対象拡大により利用者の増加を見込んでいるか。
- A** 鳥取県の規程に基づき利用しやすく改定した。現状程度の水準で推移すると見ている。
- Q** 各自治公民館などにコロナ対策のためにエアコンの設置予算があるが、10万円を超えた場合に他の補助金との併用は可能か、また諸経費も含まれるか。
- A** 他の補助金との併用は考えていない。諸経費も一体となった請求書なら対象とする。
- Q** 度重なる豪雨による復旧工事が残っているが、今後の見通しは。
- A** 予算との関係もあるが、安定して生活が出来る点を最優先に行ってきた。林道などまだ実施できていない箇所もたくさんあり、県と連携し随時工事を行っていく。
- Q** プレミアム付き「地元商店応援券」の発行について町内で使用出来ない店舗は具体的にどの店を想定しているか。
- A** アプト内のマルイ、Aコープ、ウェルネス、コスモス、トライアルなど。利用できない理由として地元商店を応援するという考え方で以前と同じである。道の駅は利用できる。



一向平キャンプ場森林体験・交流センター



リニューアルされた道の駅琴の浦





教育民生常任委員会

委員長 澤田 豊秋

6月15日に委員会を開催し、午前中、各課からの報告事項等の説明を受け質疑を行った。
また、付託された「ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情」について審査し、全会一致で採択することに決した。

午後は、①赤碕ふれあい広場（たこ公園）、②ふなのえこども園・成美地区公民館予定地、③安田地区のまちづくりセンター化並びに旧安田小学校の改修工事に向けた取り組み状況について現地視察を行った。

《 質疑応答 》

- Q** 追加補正で、感染症予防対策として自治会にエアコン等の補助があるが、コロナ対策を全部してしまった部落に対してはどのようにされるのか。コロナに関連した備品ならよいか。
- A** この事業は、コロナで地域のコミュニティが崩壊しかけている危機感から、まずは集まりやすい環境づくりを支援するもので、わかりやすく伝えたい。
- Q** 公共施設予約システムの導入を行うということだが、スマホからも可能か。
- A** スマホからも可能。
- Q** 赤碕ふれあい広場（たこ公園）リニューアル事業は、遊具のみか。駐車場から広場に入るまでの整備は。
- A** 駐車場からの整備は考えていない。漁協が出入りしているバックヤード（裏庭）の利用の仕方を考えている。
- Q** たこ公園は環境だけでなく、ユニバーサルデザイン※1が基準になっているとのことだが、遊具でインクルーシブ※2（障がいがある無しに関わらずみんなが遊べるもの）はないか。また、将来的に設置する予定はないか。
- A** 色の認識、ボードゲームがある。今の段階ではない。
- Q** Wi-Fi による環境過敏症について、配慮、該当者の把握は出来ているのか。
- A** 現時点で情報はない、学校養護教諭と連携する。
- Q** 町の人権・同和教育推進協議会で、細則の中に費目流用を認める案は誰が出されたのか。流用が当たり前になってしまうのでは。
- A** 実態として流用を例年してきた経緯もあり、きちんと明文化しようと提案した。行き過ぎることがないように注意したい。
- Q** 給食材料費について、私立こども園・保育園は、国の補助金支出で賄われるようだが、公立こども園は、一般財源となっているが。
- A** 公立園は、全体が交付税の対象となっている。給食費のみ分けて扱うのは困難なため、一般財源になっている。

※1 ユニバーサルデザイン

年齢・性別・文化・身体の状況などの違いにかかわらず、できるだけ多くの人が利用できることを目指したデザインのこと。

※2 インクルーシブ

「あらゆる人が孤立したり排除されたりしないよう支援し、社会の構成員として包み、支え合う」という社会政策の理念を表す。



赤碕ふれあい広場



ふなのえこども園・成美地区公民館予定地



旧安田小学校

ここが聞きたい

一般質問

Q&A

一般質問とは、議員が、町長・教育長・農業委員会会長・選挙管理委員会委員長・監査委員などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて問うもの。

質問議員	質問事項	掲載ページ
通告1番 小椋 憲浩	1. 地方創生総合戦略について 2. 障がい者スポーツ振興について 3. 交通安全対策について	8
通告2番 山本 秀正	1. 安心・安全に暮らせるまちづくりについて	9
通告3番 田中 肇	1. 東伯総合公園のサッカー場整備について 2. PFIによる東伯総合公園及び赤碓総合運動公園の改修・運営について	10
通告4番 川本 善孝	1. 「水田活用直接支払い交付金」見直しの影響について 2. 消費税のインボイス制導入による影響について	11
通告5番 谷田 順子	1. 高齢者福祉の推進について	12
通告6番 手嶋 正巳	1. 東伯総合公園のサッカー場について 2. 子供の弱視の発見に専用機器を導入しては	13
通告7番 川本正一郎	1. 商工業の活性化について 2. 地域農業の活性化について	14
通告8番 井木 裕	1. ふなのえこども園の新築・移転について 2. 農業の推進について	15
通告9番 押本 昌幸	1. 八橋小学校周辺道路改良工事 2. 本庁舎窓口アクリル板撤去 3. 胃がん検診 4. 人口減少対策	16
通告10番 小椋 正和	1. 船上山さくら祭りについて 2. ナラ枯れについて 3. 再エネ発電について 4. 小中学生の給食助成について	17

※青字は、本紙では省略。



一般質問通告書



小椋 憲浩 議員

問

- ①琴浦版（福本版）地方創生総合戦略について
- ②障がい者スポーツの振興について
- ③交通安全対策（区画線整備）について

答

- ①国の将来像と合わせ4本柱で進めている 福本町長
- ②誰もが楽しめる共生社会の形成に取り組んでいる 田中教育長
- ③計画的に整備しているが十分ではないと認識 福本町長

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (14回 24分 + 34分) 58分

問 琴浦版地方創生総合戦略の考え方・決意について

- (1)地方創生総合戦略は2期目の中間点に来ている。福本町長の考え方と決意を伺う。
- (2)就任後4か月が経過したが、琴浦町まち・ひと・くらし創生戦略(37項目)についての今後の進め方を伺う。

答 4本の柱で魅力的な琴浦町をつくる

- (1)まずは稼ぐ地域をつくとともに安心して働けること、2点目には地方とのつながりを築き地方へ新しい人の流れをつくる。3点目に結婚、出産、子育ての希望をかなえる。4点目は人が集う安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる。

福本町長

- (2)毎年度事業の進捗状況、数値目標を検証しながら地方創生推進会議等にかけて、全体の中で調整し必要があれば見直しを行う予定でいる。

山根企画政策課長

問 障がい者スポーツの振興について

- (1)琴浦町のスポーツ振興の全体の現状を伺う。
- (2)障がい者競技者、指導者育成を伺う。
- (3)施設の活用状況と整備状況を伺う。

答 生涯、誰もが楽しめるスポーツ、レクリエーションの活動を推進している 福本町長

- (1)町民総スポーツ運動の推進をしている。
- (2)各種団体を含め指導者育成には応援したい。福祉の面でも健康づくりを指導をしている。
- (3)障がい者スポーツに合わせた設備を整える。

答 誰もが楽しめる共生社会の形成に取り組んでいる 田中教育長

第2期障がい者計画の中にスポーツの振興含まれており、障がい者指導員は現在町内で8名であり、今後も新規育成、交流を推進していく。また既存の施設でも各種競技を開催しており、今後は施設の充実を盛り込みたい。

問 交通安全対策について（区画線）

- (1)琴浦町の交通安全対策の現状について伺う。
- (2)町が管理する区画線整備は計画的か伺う。
- (3)今後の区画線整備について伺う（町づくりとして観光面での整備計画は）。

答 交通安全の確保が一番大事なこと 福本町長

- (1)関係機関、各種団体と連携して交通安全の啓発活動や道路改良を行っている。
- (2)全部ではないが、毎年度予算化し年次的に整備している。必要性の高いところは優先的に整備している。
- (3)センターラインを始め、通学路や観光地の駐車場など、なぜ区画線が必要なのかを念頭に置き整備する必要がある。



町道以西小学校線（宮木地内）



- ① 自主防災組織が災害時に十分機能するのか
- ② 支え愛マップづくりを今後どのように推進するのか
- ③ 交通事故防止のため狭隘道路を解消すべきでは



- ① 災害対応人員不足など、課題があると認識している
- ② 各集落への周知、働きかけを行い推進していく
- ③ 危険で狭隘な道路の問題の解消は重要な要素であると認識している
福本町長



山本 秀正 議員

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (15回 25分 + 32分) 57分

安心・安全に暮らせるまちづくりについて



本町の自主防災組織は、平成19年から組織化が始まっており、19年・20年代前半に組織化されているところが30組織ほどあるようです。組織化されて10年以上経っているところもありますが、全体的に結成当時と組織体制や活動などの状況が変わってきているということがあるかお聞きしたいと思います。



災害対応人員不足など、課題があると認識している

今現在で18年に結成した組織がそのまま生きて運営も行われているかというのは定かではないところがあります。それは集落の中で役員替え等もあるでしょうし、そういったときに点検をしていただかないと、町のほうそれぞれ回って報告を受けるといったようなこともしておりませんので、区長会を通して呼びかけをさせていただいておりますし、再々していきたいと思っております。



災害時の対応として、福祉の視点での支え愛マップづくりは必要であると考えますが、今後、どのように推進されようとしているのかお伺いします。



各集落への周知、働きかけを行い推進していく

今後の推進についてであります。当然支え愛マップ作りは集落だけではなかなか困難なところもありますので、役場のほう、それから社会福祉協議会と、それから集落の皆さんとで作り上げていき

たいと思っております。町のほうも防災危機管理室を中心に参加しております。基本的には事業を進めるのは社会福祉協議会から呼びかけをしてもらっていますが、町が行う集落訪問でありますとか、研修会での事業概要、必要性等は、その都度話をさせてもらっています。



町道八橋以西線はすれ違いができない、まさに狭隘道路で危険な状態であります。このような危険な狭隘道路は他にもまだあるとおもわれます。安心・安全に暮らせるまちづくりのため、交通安全上また防災上の観点から、計画的にかつ早急に解消する必要があると思うが、考えをお伺いします。

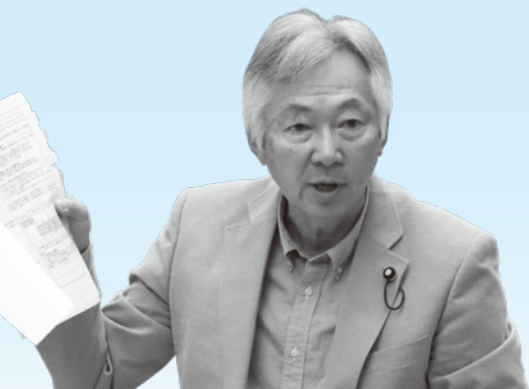


危険で狭隘な道路の問題の解消は重要な要素であると認識している

財源を確保しながら部分的な改良や安全施設の設置について必要な対策は講じていきたいと思っております。御指摘のところ、待避スペース等も勘案しながら考えていかなければいけないと思っております。今後も特に道路の利用形態でありますとか、必要性や緊急性、重要性を考慮しながら必要な箇所、必要な対策を講じていくところであります。



町道八橋以西線 (岩本地内)



田中 肇 議員



- ①東伯総合公園のサッカー場整備について
②PFIによる東伯総合公園及び赤碕総合運動公園の改修・運営について



- ①機能性、稼働率は圧倒的に人工芝が良いが 教育長
②老朽化施設の改修と高いサービス提供 福本町長
効果等についてはまだ提案がない 教育長

質疑応答時間 (26回 (質問) 30分 + (答弁) 43分) (トータル) 73分

東伯総合公園のサッカー場整備について

問 公共施設レビューの改善指摘について

今から4年前、平成31年3月16日に開催された公共施設レビューにより、東伯総合公園サッカー場の改善について指摘があった。

法の目的に基づき、どのように整備するのか、住民の要求、財政上の観点から質問する。

答 機能性、稼働率は人工芝が良いが 教育長

天然芝、それから人工芝の比較をいろいろさせてもらいました。

その中で、やはり機能性というふうなこと、それから稼働率ということを考えれば、圧倒的に人工芝の方が良いことは明らかです。

安全で安心な町民が主役で使うサッカー場、これをどうするのかということは、今後慎重に考えていかなければならないと思っています。

問 環境汚染の有無を調査したか

人工芝の環境汚染について、鳥取県の中中部地区の湯梨浜町と大山町に人工芝のグラウンドがあるが、教育長が答弁したような環境上の問題があったか、どうか調べているか。

答 調査していない 教育長

近隣でのそういうデータはありませんので、もし必要であれば聞いてみるが、今は持ち合わせていません。

問 1億2,800万円の助成金は確保したか

人工芝サッカー場の整備費1億5,000万円に対し

てサッカー協会から6,000万円、スポーツ振興くじトトから6,800万円、合わせて1億2,800万円の助成があり町の財政負担は2,200万円で済んだが、昨年の10月で期限切れ。

これに代わる財源を町は確保しているか。

答 1億2,800万円の助成を逃した 福本町長

昨年の取組の中で、提案のあった助成事業、それを逃したという事実は認めます。

PFIによる東伯総合公園及び赤碕総合運動公園の改修・運営について

問 PFI導入の目的と効果について伺う

答 老朽化施設の改修とサービス提供 福本町長

老朽化した施設を改修し運営にあたる点と、民間の持つ多様なノウハウを生かした質の高いサービスを提供します。

答 効果等についてはまだ提案がない 教育長

いろんな効果等については、まだ提案されていないので、その提案を見て今後考えていきます。

問 導入前後の利用者数と利用収入について

答 現段階では、どちらも示せない 福本町長

問 障がいのある方への配慮は

障がいのある方にとっての施設整備は社会的に当然やらなくてはならないが、出来るか。

答 PFIの中の議論では、まだそこまで到達していないように思う 福本町長



- ①『水田活用直接支払交付金』見直し(R4~R8)の影響は
- ②消費税のインボイス制導入(R5.10月)によるシルバー人材センターおよび水道課の新規負担額は



- ①多大な影響を受ける。国に引き続き現場の声を伝えていく
- ②シルバー人材センターの負担額は約320万円、水道課は約20万円



川本 善孝 議員

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (6回 15分 + 26分) 41分

『水田活用直接支払交付金』見直しの影響



『水田活用直接支払交付金』*1のR3年度実績(受給戸数・受給額・多い作物など)を示してほしい。



交付金受給戸数(実数)290戸、受給金額72,515,117円。作物別受給戸数では芝が最も多く、飼料作物、ブロッコリーの順。作物別配分額では、飼料作物、WCS用稲*2、芝、ブロッコリーの順。



同交付金の見直しによる影響と対策は

本町の受給戸数は290戸で31%の農家が受給。県全体は25.3%、全国平均も27.7%で、本町は高いが。



芝など畑地化しておりかなり困難

芝、飼料作物、ブロッコリー等の面積が多く、これをブロックローテーションで組むのはかなり不可能。芝はほぼ畑地化しており、水田に戻すということは困難。借りている酪農家・畜産農家も大変。水稲そのものも耕作放棄する可能性があるのではないかという懸念がある。5月に県とともに単町の要望書を県選出の国会議員の先生方に提出してきた。他町村もこの転作の問題はかなり痛いというような話が出ていた。

生産団体を通じて、国会に対して7月ぐらいには陳情も上がっていくと思う。

※1『水田活用直接支払交付金』の見直し問題

最大の見直しは「今後5年間(R4~R8)に一度も水張りが行われない農地は交付対象水田としない」というもの。

※2 WCS用稲

穂だけではなく、茎や葉も収穫し、フィルムで密閉し発酵させた家畜の飼料のこと。

消費税のインボイス制導入による対策



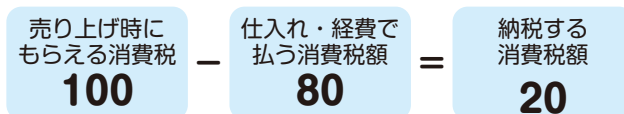
消費税のインボイス制導入(R5.10月)によってシルバー人材センター約320万円、水道課約20万円の負担増との試算だが、その対策は。



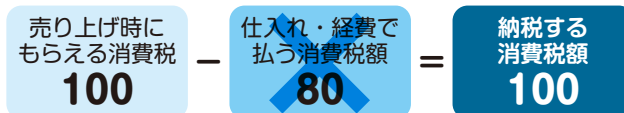
県のシルバーの方でも議会へ陳情をされると伺っている。弱いところは守っていくインボイス発行事業者にならなければならないとなると、シルバー会員の人、水道メーター検針の人は辞めると言う人が必ず出てくると思う。いろんなところに影響は出てくると思うが、弱いところはやはり何とかお願いをしていかなければならないと思っている。

インボイスがないと納付金額が大きくなる

インボイスを発行する課税事業者との取引では…



インボイスを発行できない免税事業者との取引では…



インボイス説明図



谷田 順子 議員



- ①安心して暮らせる地域共生のまちづくりをどう進めるか
- ②認知症予防対策として、補聴器の購入費助成を検討しては
- ③高齢者の見守り・安心して生活できる対策は



- ①生活支援コーディネーターの配置などを重点に行う
- ②補聴器の購入費助成は前向きに検討する
- ③見守りカメラは、防犯機能も含めれば検討の余地はある
福本町長

質疑応答時間 (11回 26分 + 33分) 59分
(質問) (答弁) (トータル)

高齢者福祉の推進について

問 地域共生のまちづくりをどのように進めていくのか

第8期琴浦町介護保険事業計画・高齢者福祉計画及び、第4期琴浦町地域福祉計画ではいつまでも住みなれた地域で安心して暮らせる地域共生のまちづくりを基本理念としているが、どのように進めていくのか基本的な考えは。

答 地域包括支援センターの体制整備と生活支援コーディネーターの配置などを重点に行っている

高齢者が安心して暮らせるために、介護サービスの提供はもちろん、身近な地域においてお互いに助け合い、支え合う地域づくりが重要。

それぞれの地域特性を考慮しながら、共生社会の実現を目指す。

高齢者とその家族の相談支援として地域包括支援センター、医療・介護・地域等が連携した対応を行っている。

困難課題が多様化する中、包括的な支援が町に求められている。センターの体制整備強化と生活支援コーディネーターの配置などを重点に行っている。

問 認知症予防対策として、補聴器の購入費助成の検討はされないか

計画では、認知症施策推進大綱を踏まえ共生と予防の取り組みを進めるとあり、認知症への理解を深めるための普及啓発など6項目の活動が明記されているが、認知症予防対策として補聴器購入費の助成は検討されないか。

答 前向きに検討する

補聴器と一口に言っても、かなり高額なもの。確

かに家族の中でも、テレビの音が大きいということ、家族からもどんどん会話が離れていくのも本当に寂しいことだと思う。

まだ内部で話し合っていないが、前向きに検討していく。

問 高齢者の見守り支援・防犯対策として見守りカメラの導入を検討されないか

高齢者の見守りについては、民生委員・SOS見守りネットワークなど、様々な人的支援が行われているが、人的支援には隙間ができてしまう。高齢者の表情・日常生活などの確認には映像が有効。また、玄関に設置することで、高齢者の出る時の様子や帰ってきた確認のみでなく、来客者の様子も確認できるので、空き巣被害や押し売りなどへの対応も迅速にでき防犯対策にもなる。

答 防犯機能も含めてであれば、検討の余地はある

近年は様々な見守りグッズが出ている。インターネットを通して様々なことができていると思うが、それを嫌な人もあると思う。

防犯の機能も含めてであれば、様々なものを見ながら、何が適切なものになるかももう少し検討の余地がある。



高齢者見守りカメラ

問

- ①東伯総合公園のサッカー場の判断は
②子供の弱視の発見に専用機器を導入しては

答

- ①改修を官民連携事業の一部として芝も民間事業者の提案に基づき決定
②今年度から3歳児健診に視能訓練士によるフォトスクリーナーを用いた屈折検査を導入 **福本町長**

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (14回 16分 + 16分) 32分



手嶋 正巳 議員

福本カラーを出して人工芝か天然芝か判断を

問 議会としては議員2名から提出された請願書を採択したのが原点にあると思うが。4月30日現在人口が1万6,593人となっている。サッカー場を人工芝にして交流人口の増を考えると必要があると思うが。

答 請願は採択されているが、現状のまま何も進んでいない状態である。 **福本町長**

問 人工芝の張り替えは10年間位だと聞いている、全部張り替えなくてもいいのでは。

答 人工芝の材質は以前より変わって来ている、スポーツをするのに最適な環境を考えていきたい。 **福本町長**

問 サッカー場は人工芝で、多目的広場に天然芝を。総工費1億5,000万円と仮定した場合、スポーツ振興宝くじ助成6,800万円、町負担が8,200万円になるが。

答 整備の内容については具体的に煮詰めていないが改善は必要と思う。総工費の大きな試算は具体的にはしていない。 **福本町長**

問 PFIの提案を採用した場合、スポーツ振興宝くじ助成金は使えないのか。

答 地域スポーツ施設の整備助成、スポーツ振興宝くじ助成金の部分で町が補助を受けられる。起債での財源確保はできる。 **山田総務課長**

子供の弱視の発見に専用機器を導入しては

問 眼鏡などを使っても十分な視力が得られない、弱視の子供は50人に1人いるとされており、目の機能が発達する年頃までの早期発見、治療が欠かせない状況にあると思う。弱視の発見には3歳児健診の際専用機器を用いて屈折異常、ピントのずれ等を調べる屈折検査が有効と聞いている、国の補助事業を活用しフォトスクリーナーを導入しては。

答 今年度から3歳児健診に視能訓練士を入れたフォトスクリーナーを用いた屈折検査を導入している。 **財賀子育て応援課長**

問 1台120万円見当と聞いている、国の補助事業を利用すれば60万円で導入出来ると思うが。

答 3歳児健診を年7回実施している。7回のために機器を導入するか、視能訓練士さんに機器を持って来てもらって検査を行うか、検討の結果、町としての導入は行わないとした。 **財賀子育て応援課長**

問 この機器の効果、実績は出ている。機器導入の再検討は。

答 視能訓練士は国家資格を持った医療技術者であり、機器を導入しても町の職員がするという事は難しい。 **福本町長**



川本 正一郎 議員

問

- ①商工業の活性化について
- ②地域農業の活性化について

答

- ①新たな取組みを支援する **福本町長**
- ②農業支援対策をする **福本町長**
遊休農地解消に努める **福田農業委員会会長**

質疑応答時間 (20回 30分 + 47分) 77分
(質問) (答弁) (トータル)

商工業の活性化

問 琴浦町での各種支援策やキャンペーンの、実施状況とその効果を評価されているのか伺う。

答 厳しい状況は続いている **福本町長**

給付金や低融資の利子補給、応援券の発行等により事業の継続を支援した。町内の「新型コロナ安心対策認証店」は71事業所であり、認証店を掲載したリーフレットの作成や民間テレビ番組で紹介した。一定の成果はあったが、まだまだ厳しい状況である。

答 地産地消の取組み **米村商工観光課長**

地域内の経済循環を促進する「BUYコトウラ運動」を進めている。地元産品をPRするリーフレットの作成や町報でも年六回商品の紹介コーナーを掲載している。

問 アフターコロナを見据えた、商工業及び観光の活性化に向けた問題点と事業計画があれば伺う。

答 新たな取組みを支援する **福本町長**

人口減少進む中で、販路拡大や生産性の向上等の取組みが必要である。事業者の新たな取組みを支援する補助制度を設けて支援していきたい。道の駅琴の浦から町内の周遊を促進する取組みや、新たな観光商品やアウトドアツーリズムを推進して観光消費額を増加させたい。

答 食が観光のコンテンツ **米村商工観光課長**

第2次観光ビジョンでは、食を活かして地域産業全体の底上げを図る取組みをしている。

地域農業の活性化

問 農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想を策定されて農業活性化の取組みと、コロナ禍と諸情勢により農業資材や飼料価格の高騰による影響への対策や支援計画は。

答 農業支援対策をする **福本町長**

関係機関と連携をして、農地の再生事業や人・農地プランの策定等を実施している。令和3年から米価が下落、今年は資材や原油価格等の様々な影響が出ている。現在の資材や飼料価格等の高騰を踏まえ、早急に県の支援策を活用しながら農林漁業者等を支援するために対策を講じる。

問 農業委員会では、農地等の利用の最適化の推進に関する指針を策定されて活動計画により努められているが取組みと問題点を伺う。

答 遊休農地解消の対策 **福田農業委員会会長**

担い手へ農地の集積と集約化へ利用権の推進、農地中間管理機構等の関係機関と連携して活動している。農地の利用状況調査をして遊休農地の解消に努め、親元就農者や新規参入者の支援等も実施している。転作助成金の見直しで条件の悪い農地等で遊休農地が増えることを心配している。

問 今後の農林水産業の振興策を伺う。

答 総合計画の重点として **福本町長**

第3次総合計画で、農林水産物の生産振興と第一次産業の担い手育成、スマート農業の推進を重点的に取り組んでいく。



政治姿勢

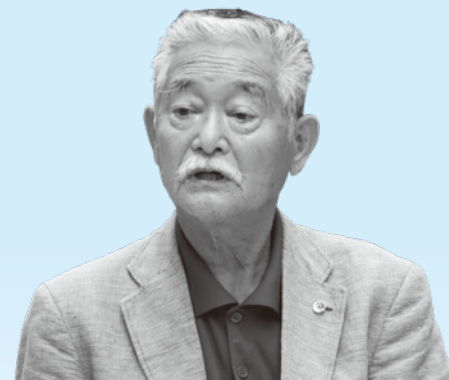
- ①ふなのえこども園 新築・移転について
- ②農業の推進について



- ①施設は広く住民の意見を反映させたい
- ②第一に農畜水産物の生産振興と第一次産業の担い手育成、第二にスマート農業の推進 福本町長

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (6回 21分 + 15分) 36分



井木 裕 議員

ふなのえこども園 新築・移転について



住民説明会は保護者だけでなく、広く町民からの意見を募ってはどうか？

10年・15年を見据えた少子化対策や保育行政の在り方について伺う。



当初から少しずつ変わった点もあるが広く住民の意見を反映させた施設にしていきたい。保育行政については、子どもの数やニーズの動向を見ながら検討していくことが大切。



保育園の建設は、1回建ててしまえば30～40年は変えられない。子どもの数が減少していく中で運営ができるのか？今後は、小中学校にも影響が出る。

今の建設は延期してでも、皆とどうしたら良いか話し合っしてほしい。



今現在、別のところにするとか、再検討するような提案は届いていない。



町長はあなただけだから、やりたいことを提案して引っ張ってほしい。決意は？



こども園については、保護者の思いを大事にしないといけない。懸念していた水道や下水についてはクリアできているので進めたい。

農業の推進について



後継者問題、もうかる農業について町長の考えは？



第一に農畜水産物の生産振興と第一次産業の担い手育成、第二にスマート農業の推進を重点に取り組んでいる。



まちづくりの中で農家の所得をどれだけ上げるかが基本。

前回梨のひょう被害があって多くの梨の木が切られた。これで基幹産業は農業と誇れる町になるのか？



自然相手のものは変動がかなり大きい。様々な補助事業を利用しながら頑張っているところ。荒廃農地や農業をやめたというところが数字的にもとても危機的な状態にあるので、何らかのテコ入れはしていかなければならない。



過去、構造改善事業などは様々な事業で投資し、優良農地は成り立ち、農家の人が維持管理している。農地を大切にすることが農業の基本だと思うが町長は？



琴浦は古くから第一次産業をベースにして二次産業が生まれ、流通や加工・販売まで生まれてきたことは大切にしないといけない。琴浦は標高500mまで農地がある。連携取りながら進めていく。



押本 昌幸 議員

問

- ①八橋小周辺道路改良工事が集中しているわけは
- ②コロナは空気感染、庁舎窓口アクリル板を撤去しては
- ③胃がん死亡対策にピロリ菌検査を
- ④若者が暮らせる町づくり・人口減少対策を

答

- ①事業費の6割は国、残りは過疎債で
国の通学路の緊急安全対策事業で
福本町長 黒田住宅建設課長
- ②飛沫感染防止でまだ必要
福本町長・田中教育長
- ③来年度からのピロリ菌検査を検討
中井すこやか健康課長
- ④琴浦では、若者が今住むところを要望
福本町長
若い人も町内で活躍していることを情報発信 山根企画政策課長

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (12回 30分 + 32分) 62分

八橋小学校周辺道路改良工事が集中している理由・財源・負担

問 八橋小学校周辺道路改良工事が集中しているが

八橋小周辺に道路改良工事が集中しているが、どういう理由で、そうなったのか、それぞれの工事の意味合いを聞きたい。

答 3件は町事業で概算3億4千万円余。国が6割補助、残り過疎債で 福本町長

下図①は国道9号線八橋小入口交差点。事故発生などにより地元要望が以前からあった。国の工事。

下図②はJRを跨ぐゴリン橋。築52年経過し町道橋長寿命化修繕計画で優先的に対応が必要な橋。概算事業費2億9千万円。うち国から1億8千万円。過疎債で1億1千万円。町一般財源が3万3千円。

下図③は通学路にも指定されている町道。歩道が未整備で幅員も狭い。事業費5千万円。うち国が3千万円。過疎債で2千万円弱。町一般財源は5万円。

下図④は主に通学路で経年変化により一部危険になっておりゴリン橋架け替えに併せて路面を修繕する。事業費は400万円。国が242万円。過疎債で150万円。町一般財源が8万円。

問 事業は地元の永年の懸案。ゴリン橋の古さと通学路整備のきっかけは。

答 古さは3、4番目。国の通学路の緊急安全対策事業で優先事業に。

黒田住宅建設課長

八橋小周辺道路改良工事位置図



庁舎窓口アクリル板を撤去しては

問 コロナの感染原因は空気感染で、マスク着用前提で、換気が大切。飛沫感染防止のアクリル板は撤去すべきでは。

答 飛沫感染防止でまだ当分の間必要。 福本町長

答 まなタンホールは外部空気を取り込み換気する循環型だが、赤碓分庁舎のホールは異なる。今後の施設は循環型に。 田中教育長

胃がん死亡対策にピロリ菌検査を

問 平成25年からピロリ菌の除菌について保険適用が拡大になり、胃がんの死亡者が極端に減ってきたという。町の現状と方策を聞きたい。

答 ピロリ菌陽性者の胃がんリスクが5倍になるというエビデンス(検証結果)がある。町としても、がん対策として来年度からの検査の実施を検討中。 中井すこやか健康課長

若者が暮らせる町づくり・人口減少対策を

問 人口減少対策は、新聞・内閣府・研究所とも、若者が都会に出て行って戻ってくる「若者回復率(特に女性)」の底上げと結論が出ている。町の対策は。

答 湯梨浜・大山町は、それぞれベッドタウン的な要素が大きい。琴浦では若者の要望が、今住むところが欲しいという。 福本町長

答 働きやすい環境、女性も男性も生活がしやすい面もアピールしたい。若い人も琴浦町内で活躍していることを情報発信する施策を。

山根企画政策課長

問

- ① 船上山さくら祭り来年度は
- ② 再生エネルギー発電で財源確保
- ③ 給食費無償化は図られないか

答

- ① 町民も参加できる体制で
- ② 諸条件の整備をしていく必要
- ③ 検討をしていく

福本町長



小椋 正和 議員

質疑応答時間 (29回 (質問) 30分 (答弁) + 37分 (トータル)) 67分

船上山さくら祭り

問 来年度はどう取り組むのか

今年度は中部マルシェ実行委員会が4月の3週間土日に開催されたが、町の支援はどの様になされたか、また来年度の取り組みはどの様な形で取り組まれるのか。

答 町民も参加できる体制で

駐車場の使用許可、自然公園法の届出、町道へののぼり旗設置等の支援を行った。来年度においては従来のさくら祭りメンバーとの共催、観光協会、町民の方々も参加できる体制を作っていきたいと考えている。

問 のぼり旗の更新は

イベントを盛り上げるのぼり旗が古くなり使用不可能と聞いているが、新調はされないか。

答 整備していく

会場への道案内も含めて、会場への誘導効果も含めて大きな効果がある。今後に向けて整備を行っていく。



中部マルシェによるさくら祭り

再生エネルギー発電

問 再エネ発電に取り組む気は

エネルギーの地産地消を推進する上にも、再生エネルギー発電に取り組み、自己財源の確保を図られないか。

答 諸条件を整備

設置場所、水使用に係る利害関係、法手続きなどの諸条件が整えば整備していく必要もある。

一般財源も少ない中で、自助努力で財源を生み出す必要もあると考えている。

問 各種団体への支援は

町内の各種団体が再エネ発電に取り組むとすれば、助成支援はなされないか。

答 お話があれば聞く

地域の方でも、再エネ発電に取り組みたいということがあれば、話は聞きたい。

給食費無償化

問 県内無償化の流れがある

県内では町村の3分の1が無償化を実施しているが、取り組まれないか。完全無償化が出来なければ、半額助成は出来ないか。

答 検討していく

議論を深め、検討していかなければいけない。

期待される

議員定数・報酬

先頃、県東部の若桜町議会が議会改革調査特別委員会を発足し、町民が政治参加しやすい環境議員のなり手不足は、住民自治の危機であるともいわれています。

令和4年1月に執行された本町の議員選挙では定数16名に対し18名が立候補し、無投票にはの問題ではありません。

今回、全国町村議会議長会の「議員報酬・政務活動費の充実に向けた論点と手続き（令和4年考えてみました）。

議員のなり手不足の要因

よく論ぜられる要因は次の三点です。

■なれない要因

- ・選挙運動を担う層の弱体化 ・兼業禁止の規定

■ならない要因

- ・議会、議員の魅力がない ・報酬の低さ

■その他

- ・定数削減による当選ラインの上昇

要因解消の問題

要因の解消には、次のような問題(一例)が伴います。

・議員報酬のアップ

- 議会予算(税金)の増額
- 報酬に見合う議員活動が求められる

・定数削減

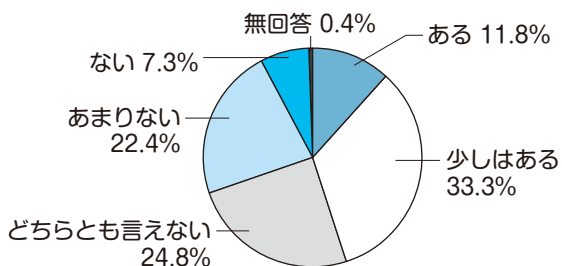
- 組織や団体支援の候補者に有利で、個人候補者に不利
- 議論や討議の多様性が無くなる

令和元年町民アンケート結果

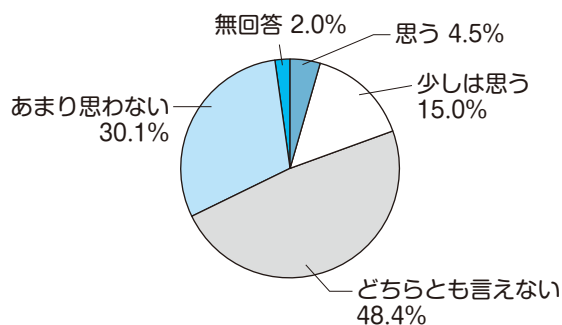
町議会では、令和元年に町民アンケートを実施しました。その一部を抜粋します。

(調査対象1,000名、回答246名)

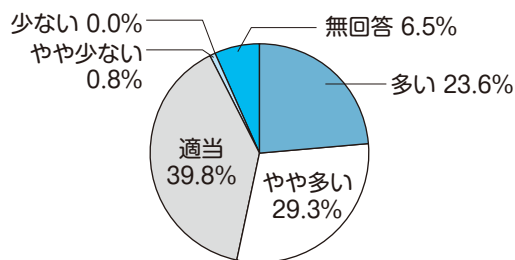
問6 町議会に関心があるか



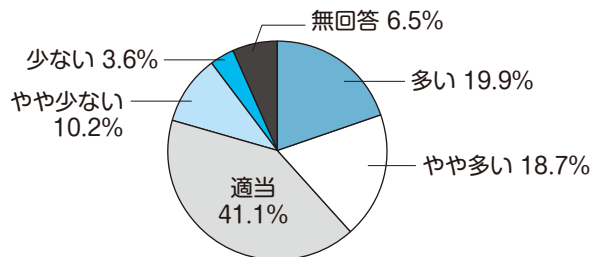
問9 今の町議会を総合的に評価できると思うか



問12 議員定数(16人)について



問13 議員報酬について



令和2年議会改革推進特別委員会報告

令和2年10月に議会改革推進特別委員会(前田智章委員長)を設置、「町民アンケート」の分析結果を踏まえ、方針を決定しました。

町議会

の改革は

づくりについて議論を始めました。

なりませんでした。議員のなり手不足は他町

2月発行)」を資料に、本町議会の現状について

■議論した項目

- ・議員定数（16人） ・議員報酬（224,000円）



■審査結果

- ・現状維持

琴浦町議会の現状

■議員数は県下町村で最多か

本町の町議員定数は、平成16年の合併時30名から、平成18年に20名、平成26年に16名に削減し現在に至っています。

右上の表のとおり、県下町村で最多となっていますが、議員1人当たりの人口比に換算すると順位は変わってきます。

■報酬は中部地区一律

平均報酬額より、やや上で、東部地区を除き、中・西部は地区単位で一律の額となっています。

「全国町村議会議長会」からの改革提言

「全国町村議会議長会」では議員報酬と定数について次の提言を行っています。

■原価方式による算定

議員の活動量を首長（町長）と比較して、首長の給料から議員報酬を算定する。

ただし、これは科学的な根拠を示すのではなく、住民の皆さんと議論し理解してもらうための素材提供です。

また、活動量については活動の「質」も問われます。

議員報酬を増額した町村にアンケートしたところ「議員の活動量（原価方式系）」は23%で、「類似団体を参考」が70%でした。

鳥取県内町村議会の月額議員報酬・議員定数など

	月額議員報酬（円）	議員定数	議員1人当たりの人口比
岩美町	228,000	12	901
若桜町	198,000	10	287
智頭町	229,000	12	536
八頭町	217,000	14	1,139
三朝町	224,000	12	506
湯梨浜町	224,000	12	1,339
琴浦町	224,000	16	1,023
北栄町	224,000	15	949
日吉津村	221,000	10	350
大山町	221,000	16	963
南部町	221,000	14	737
伯耆町	221,000	14	765
日南町	221,000	10	420
日野町	221,000	10	291
江府町	221,000	10	268
平均	221,000	12.5	698
鳥取市	475,000	32	
米子市	450,000	26	
倉吉市	390,000	17	
境港市	385,200	16	

県内町村議会について
※月額議員報酬および議員定数は、2021年7月1日現在の鳥取県町村議会議長会「第67回町村議会実態調査集計表」より

※人口比は2020年国勢調査県概数値より算出

県内市議会について
※月額議員報酬は2021年4月1日現在

※議員定数は、2021年12月7日現在

■定数の基準（多様性）

望ましい定数に関する基準は次の二つです。

①人口基準

②討議できる人数基準

重要なのは、議会の存在意義である「多様性に基づいた討議」が保証されることです。

ここでいう多様性とは地区、性別、年齢、障がい者、職業などを考慮する必要性です。

改革に向けて

先の議会改革推進特別委員会は、今後も議会改革の推進を議員全員で協議検討すると報告しています。

本町では9月定例議会で特別委員会の設置を予定しています。

住民の皆さんに寄り添い、信頼される議会・議員として存在感を発揮できる改革を期待して下さい。

（*令和2年12月定例会での報告書を次頁に掲載）

令和2年12月22日

琴浦町議会議長 小椋 正和 様

議会改革推進特別委員会
委員長 前田 智章

議会改革推進特別委員会審査結果報告書

当委員会に付託された審査事件について、審査の結果を下記のとおり会議規則第77条の規定により報告します。

記

1. 審査事件 議会改革の推進に係る審査

2. 審査の経過

令和2年10月20日臨時会において、当委員会が設置され、翌10月21日には、昨年度実施した「議会改革に関する町民アンケート」に関する分析結果の説明を鳥取大学の先生2名から聞いた後、議員懇談会を経て、11月6日と、11月26日の2回、当委員会を開催した。同日、当委員会の方針を決定した。

3. 審査結果の報告

当委員会では、「議会改革推進項目」のうち、①議員定数、②議員報酬の2点に絞って議論することとし、結果、次の理由により、いずれも「現状維持」との結論に至った。

①議員定数について

定数削減の経緯は、平成16年合併時30人から3度の改選を経て14人を削減し、現在の16人となっている。

昨年度実施した町民アンケートの結果は「適当」41.9%、「やや多い」31.4%、「多い」25.3%であった。「多い」と回答された方の中には、本町の議員定数を知らない方もあった。また、議会に関心が無い方の割合が多くあった点は、注目すべきである。

本特別委員会は、町民アンケート分析結果や、県内各自治体の状況及び総務省の2020年地方議会シンポジウムで示されたデータ等を参考に検討し、出席議員全員の意見を求めた。最も多かったのは、「現状維持」。また、1人から2人「削減」と「増員」すべきとの意見もあった。理由は、それぞれあったが、議論を重ね、最終的に「現状維持」との結論に至った。

②報酬について

報酬については、中部の4町で統一されており、報酬審議会で審議された結果を受けて各町で決している。本町独自で変更することは困難である。

また、報酬を引き上げる際は、住民との意見交換会を十分にいき、根拠を丁寧に示しながら、住民の理解を得ることが必要不可欠であり、早々に結論を出すことは出来ない問題である。議員定数と同様に「現状維持」と結論付けた。

4. 委員会の意見

この度は、2点に絞って議論したが、議会改革を推進する上で多くの課題が山積している。

議員のなり手不足、議会への関心の低下、議会運営の在り方やポストコロナを見据えたデジタル化に伴う会議規則等の体制整備等々、議会改革を引き続き推進しなければならないと考える。

当特別委員会は、審査を終了するが、琴浦町の発展のため、議会改革の推進を今後も議員全員で協議検討することとした。

なお、報酬については、議長を通じ中部町村議長会で検討の上、中部町村会に対し報酬審議会の開催を求め、今後の報酬の在り方を検討するよう強く要望して当特別委員会の報告とする。

臨時議会

7月1日開会

赤碕ふれあい広場（通称たこ公園）のリニューアルを目的とした、建設工事請負契約締結についての議案は、全会一致で可決しました。

赤碕ふれあい広場 遊具施設外リニューアル工事

1億5,026万円



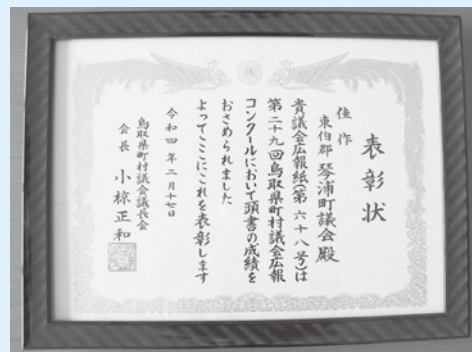
全国町村議会議長会表彰



小椋 正和 議員

3年以上鳥取県町村議会議長会長として在職し、功労があったとして表彰を受けました。

鳥取県町村議会議長会表彰



第29回鳥取県
町村議会議長会広
報コンクールにお
いて、佳作賞受賞



お詫びと訂正

本誌、令和4年5月1日第72号の19頁3行目において誤りがございました。

誤「令和3年2月8日に町村議会特別表彰を受けました。」

正「令和4年2月8日に町村議会特別表彰を受けました。」

以上のように訂正し、お詫び申し上げます。

広報常任委員会

町民の声

敬称略

ジェンダー平等について



徳本 義則

私は鳥取県の男女共同参画審議員を長年務めてきました。併せて琴浦町の審議員もしております。審議会の中で政策決定機関への「クォーター制」導入を訴え続けてきました。今ウクライナ紛争で北欧の女性首相が注目されています。

前ドイツの女性首相メルケル氏は「女性が社会を動かす大きな役割を果たしながら、政治的、経済的、社会的決定に関与していない」と述べています。しかし琴浦町に素晴らしい女性町長が選出された事はまさに賞賛すべきことです。

さらにわが国の岸田首相も今年3月8日に「ジェンダーギャップ指数が世界第120位なのは背景に男女間の賃金格差や、固定的役割意識など構造的問題がある」と述べています。さらに「男女間の賃金格差の企業の情報開示ルールの見直し」にも言及しています。男女の賃金格差是正はジェンダー平等への重要な一歩です。また選択的夫婦別姓制度創設もその一歩です。ジェンダーギャップは数値化して可視化しないと曖昧模糊となります。琴浦町におけるジェンダーギャップ指数は、政策過程における町議員の女性比6.3%。地域の方針決定過程における自治会長7.1%、及び公民館長0%です。この3項目数値は平成29年来、ほとんど変わっていません。ジェンダーギャップは目に見える日常生活障害となりにくく、責任の所在が不明確なためです。そのため選挙の政策論争にはかなり難しいものです。しかし母子家庭の多くは困窮家庭で、声を上げにくい方々です。1人も取り残さないソーシャルインクルージョン（社会的包摂）を願います。

きみのいばしょ



山崎真理奈

私は、現在、琴浦町でサイエンス&ソーイング教室『きみのいばしょ』を立ち上げています。家でもなく会社でもなく学校でもない、もう一つの心の居場所。ここでは、ワクワクするような理科実験や観察、裁縫や手芸などができる空間です。現在は、拠点がないためレンタルスペースやコミュニティ施設でイベント活動していますが、秋には拠点を作って本格的にスタートする予定です。

私が、なぜこのような居場所を作ろうと考えたかという、以前、中学校教員（理科）をしていましたが、体調を崩し休職することになりました。その際、どこにも心の居場所がないように感じながら日々を過ごしており、さらに調子が悪くなる一方でした。そんな中、やっとの思いで探した裁縫教室が私の居場所となり、また私にとって、その後の大きな力をくれる存在になりました。私は、以前の仕事を退職し、服飾専門学校に入り、専門的な技術を学びました。そして、卒業し琴浦町で居場所作りをしようと決めました。

私たちは、日々過ごしている中で、忙しさのあまり、自分を大切にしている時間や自分のための特別な空間を確保できていないことが、多々あると思います。そんな中で、少しの間だけでも良いので、充実した時間や空間を提供できたら良いなと思っています。子どもから大人まで通える教室にしていき、地域と繋がる魅力的な活動も考えています。頑張っていきますので、よろしくをお願いします。



ソーイング作品やサイエンス活動の様子

あとがき



新型コロナが感染拡大をし、ロシアのウクライナ侵攻もいまだに予断を許さない状況であります。

そんななか、民主主義の根幹である選挙中に安倍元首相が襲撃され亡くなられるという痛ましい事件が起きてしまいました。

これらの出来事は、私達の生活に精神的にも経済的にも非常に大きな影響を与えております。

物事を暴力で解決しない世の中と、皆様と気兼ねなくおしゃべりできる日が一日でも早く来ますよう、心より願っております。（あつし）

議会広報常任委員会

委員長	川本 善孝
副委員長	金光 敦
委員	山本 秀正
委員	田中 肇
委員	谷田 順子
委員	小椋 憲浩

題 字 山田 美鈴氏